

# わけもん きばっちょっど

## 未来に届け 第10回

**問** 今回は、視覚障がい者の大庭康資さんを紹介し  
ます。こん人がすげっちゃが。2018年WKF世界障がい者  
空手道大会で金メダルを取られたっちゃが…。

**答** いまかい紹介するからよ。  
この大庭さんが所属するのがユニバーサル松濤館で、そこ  
で日夜稽古に励んで今回の快挙を達成されたよ。  
仕事は「はりこや鍼灸院」を開業されちゃったよ。  
毎日仕事に空手にがんばっちゃりやるよ。頭が下がる思い  
じゃねー。



大庭康資さん：公認4段 (41才)      スペイン大会の表彰台にて

### UNIVERSAL 松濤館

昭和44年高鍋町に空手同好会として発足し、今年で51周年を迎えました。平成2年度から海外との交流を始め現在14か国を組織しUSKU (UNIVERSAL SHOTOKAN KARATE UNION) の本部として活動しています。本部にはスポーツ少年団の部と一般の部があり、子どもたちには「世界へ目を向ける動機付け」として海外訪問、大会参加、海外留学の紹介、サポート等を行っています。

ユニバーサル松濤館では勝敗にこだわらず正しい技術を身につけることに重きを置いています。ここから育った子どもたちが成長し世界の場で活躍してくれることを願っています。

近年の活動として2019年10月国際交流プログラムを行なっています。(高鍋町において海外8か国120名が訪問)これは2年毎に開催する国際交流事業で空手道技術研修会、ホームステイ、学校訪問、日本文化紹介、地域交流等を目的としています。又、国際空手道選手権大会では海外、県内外から選手480名が参加し、国際大会として継続と更なる発展を願い活動を続けています。前回は高鍋町はじめ各自治公民館や多くの方々からご支援ご協力を頂き誠に有難うございました。

次回は2021年度に開催予定しています。

UNIVERSAL 松濤館 館長 深水憲一

全盲になってから始めた空手道。視覚情報に頼れない分、耳や皮膚の感覚は鋭くなりました。ないものではなく今あるもので勝負する。そんな気持ちで続けていたことが今につながってきたのかなと思います。

2002年 ユニバーサル松濤館に入門。  
2012年 フランス世界選手権にデモンストレーションで参加。

#### 戦績

- 2014年 第1回 WKF 世界障がい者空手道大会 (ドイツ：2位)
- 2016年 第2回 WKF 世界障がい者空手道大会 (オーストリア：3位)
- 2018年 第3回 WKF 世界障がい者空手道大会 (スペイン：金メダル)
- 2019年 文部科学大臣 顕彰

## 編集後記

不覚にも3月議会が始まる前に急性腸炎を患い入院。議会を数日欠席することになり、関係各位にご迷惑をおかけし、大変申し訳ありませんでした。改めて健康の大切さを感じています。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、私たちは身を正し、正確な情報を伝える作業を続けていく事に集中しなければなりません。

3月議会では、令和2年度の大切な事業のための予算の審査を行いました。高鍋町の発展をこの「議会だより」を通じて皆さまに届けられるよう、広報委員は知恵を絞り、汗を流し編集作業を頑張りました。皆さまにはどう映りましたでしょうか。是非ご意見をお聞かせください。皆さまがご健康でありますように。

杉尾 浩一・記

(表紙写真)

▼高鍋湿原駐車場に咲き誇る鮮やかなツルコザクラ